



執務事例集 養護教諭が行う「喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育」

平成13年12月1日発行

表紙絵 入江亜希子(豊田町立豊田南中学校2年)
扉絵 鈴木真知子(浅羽町立浅羽東小学校養護教諭)

目次

発刊にあたって

静岡県養護教諭研究会会長 渡辺千津子

監修を終えて

静岡大学教育学部助教授 赤田信一

健康相談活動の事例

< 小学校 >

不定愁訴が多く、安易に薬に頼ろうとする児童

さみしさから問題行動に走ったり、喫煙がやめられない児童

学級担任から個別指導を依頼された喫煙常習児童

< 中学校 >

喫煙、飲酒から更なる問題行動の危険がある生徒への支援

家庭内のさみしさから喫煙を始めた生徒

喫煙を常習とする保健室登校生徒

委員会活動を通して、たばこについて考え出した生徒

喫煙・シンナーを含む反社会的行動をくり返す生徒

好奇心から喫煙・シンナーに走った生徒

反社会的問題行動や薬物使用へとエスカレートした生徒

問題行動の一つとしての喫煙

特別活動等の事例

<小学校>

たばこの害を知ろう <学級活動 5年生>

答えてガッテン！！～これであなたもノーモアスモーキング～ <学級活動 6年生>

健康とたばこと私たち～あなたならどうする？～ <学級活動 6年生>

きれいな空気吸いたいね！ <学級活動 6年生>

たばこウォッチング <学級活動 6年生>

私たちの体と飲酒 <学級活動 6年生>

アルコールの害について知り、きちんと断ろう <学級活動 6年生>

シンナーのこわさを知り『

NO』と言える力を持つ <学級活動 6年生>

シンナーや覚せい剤の使用を友人から誘われたら <学級活動 6年生>

たばこってどんなもの？ <身体測定時の保健指導 5年生>

覚せい剤の害について知ろう <身体測定時の保健指導 5・6年生>

喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育 <身体測定時の保健指導 全学年>

喫煙・飲酒防止について <身体測定時の保健指導 全学年>

からだにいいこと、わるいこと～たばこ編～ <児童会活動 全学年>

薬物ってなあに～自分を大切にしよう～ <保健委員会活動 5・6年生>

薬物乱用防止教育 学校保健委員会・薬学講座 5・6年生>

自分の体を大切にしよう <総合的な学習(薬学講座) 5・6年生>

薬物乱用防止教育指導 <特設時間 5・6年生>

<中学校>

どうして、たばこに害があることを知っていて吸ってしまうの？ <学級活動 1年生>

なぜ、人は危険なたばこを吸うのだろうか？ <学級活動 1年生>

たばこを考える - 保健的視野から・社会的視野から・ライフスキルとして - <学級活動 2年生>

お酒ってどんなもの? <学級活動 1年生>

飲酒と健康 <学級活動 3年生>

ダメ。ゼツタイ。断る勇気を持とう! <学級活動 3年生>

薬物乱用 断る勇気を <学級活動 3年生>

調べてみよう, たばこ・アルコールの害 <学校保健委員会>

薬物乱用防止について考えよう <心の教育研修会 全学年>

保護者・地域と取り組む薬物防止指導 <地域社会との取り組み>

ピア・サポート「みんなで高めよう, 『薬物

NO!』の気持ち」<保健専門委員会活動をベースにした学級活動 1年生>

保健学習の事例

なぜ,人は危険なたばこを吸い,やめないのだろう <小学校 6年生>

喫煙・飲酒から体を守ろう <小学校 6年生>

伝えよう 自分の気持ち <小学校 5年生>

たばこの害について発信しよう <中学校 1年生>

ダメ。ゼツタイ。勇気を持って断ろう <中学校 3年生>

みんながたばこを吸わない行動をとるための改善点を見つけよう <中学校 3年生>

参考資料 実践のための指導方法

[保健学習協力委員](#)

[編集後記](#)

[BACK](#)

発刊にあたって 静岡県養護教諭研究会会長 渡辺千津子

近年の社会環境や生活様式の変化に伴い,子供たちの心身の健康は様々な影響を受けています。「いじめ,不登校,薬物乱用,性の逸脱行動,感染症」等の問題は,青少年の現代的健康課題であり,深刻な社会問題にまで及んでいます。この課題解決に向けて,養護教諭の力が期待さ

れている今、確かな実践力を身につけ推進していくことは、私たちの責務と考えました。

そこで、事例集 号は、その中でも大きな課題となっている「薬物乱用防止教育」に焦点をあて、養護教諭の特質を生かし、学校教育活動のあらゆる場で実践している事例を集め編集することにしました。

具体的には、事例集 号のテーマを、(養護教諭が行う「喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育」)とし、健康相談活動の事例 特別活動等の事例 保健学習の事例の3点の内容に絞りました。

1点目の「健康相談活動の事例」は、会員の学校での相談事例です。プライバシーの保護は慎重に扱っています。健康相談活動は、平成9年度の保健体育審議会答申において提言された養護教諭の新たな役割であり、一人一人の子供を大切に支援するために重要と考えます。

2点目の「特別活動等の事例」では、行事「薬学講座」・学級活動・児童会や生徒会活動・集会等、実際に会員が教育現場で実践しているものを載せました。養護教諭が、自校の実態に合わせて、創意工夫したものです。ちなみに平成12年度の実態調査報告によると、1人で学級活動32・0%、学級活動TT62・9%と多くの養護教諭が学級活動に関わっている実態です。

3点目の「保健学習の事例」では、事例集 号の「養護教諭が行う授業実践」の続編とし、県内の東中西の各ブロックから2名ずつ協力委員を募り、同じスタートラインに立ち研修を重ね、その成果として6例の授業実践を載せました。静岡大学教育学部助教授の赤田信一先生に事例集全企画の段階からコーディネーターとしてお願いをし、指導案づくり・指導実の検討・授業実践への指導等並々ならぬ御尽力をいただきました。調査研究委員会の養護教諭の実態調査報告によると、平成12年度に保健に関する授業を実践した会員は、59・1%でした。その中でも、1人での保健学習17・8%、保健学習TT38・6%と年々授業を実施している養護教諭は増えている結果がでています。

このように、編集委員長を中心に、6名の協力委員と7名の編集委員の方々の2年間にわたる研修・編集の力の結集が、この事例集 号の1冊の厚みと重みとなっています。

21世紀を担う子供たちのために、養護教諭として、各学校の実態に合わせて、その特質を大いに生かし現代的健康課題「喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育」の推進を図りたいものです。そして、その際の手引き書として会員はもとより各学校で活用されることを願います。

最後になりましたが、この事例集に執筆していただきました会員の皆様と、会員に対して御協力・御指導していただきました各学校の皆様に厚くお礼申し上げます。

保健学習協力委員

小学校6年生「なぜ、人は危険なたばこを吸い、やめないのだろう」

- 身近にある喫煙の誘惑(社会環境)から身を守るロールプレイング - 池田祐子 新居町立新居小学校

小学校6年生「喫煙・飲酒から体を守ろう」

- ロールプレイングでピンチの場面での対処法を身につけよう - 松下和美 浜岡町立浜岡東小学校

小学校5年生「伝えよう 自分の気持ち」

- ロールプレイングやブレインストーミングを通じて対人関係スキルを身につける - 鎌塚優子 三島市立北中学校

中学校1年生「たばこの害について発信しよう」

- 広告分析とポスターづくり IT実践 - 鈴木聡子 戸田村立戸田中学校

中学校3年生「ダメ。ゼツタイ。勇気を持って断ろう」

- ディベートで自分の考えを深め、ロールプレイングで自分の断り方を考える - 原 陽子 富士川町立第一中学校

中学校3年生「みんながたばこを吸わない行動をとるための改善点を見つけよう」

- 課題発見と課題設定に重点をおいた課題学習を通して - 柳生美由紀 浜松市立入野中学校

編集後記

児童生徒を取り巻く社会環境の急激な変化により学校教育の課題は深刻化し、養護教諭に対する期待は大きなものとなっています。

なかでも、喫煙・飲酒・薬物乱用問題は児童生徒の生活習慣病や心の健康と深いかわりがあり、大きな社会問題となっており、特に、薬物の乱用は心身の健康のみならず人格の形成にも大きな影響を与え、加えて社会に及ぼす影響も大きいものがあります。児童生徒が喫煙・飲酒・薬物乱用とのかかわりについて早い時期から認識し、一人一人が適切な行動選択ができることが求められています。

静岡県養護教諭研究会では、それらの教育に積極的に取り組んだ県下各地の養護教諭の実践事例を「養護教諭執務事例集」として発行することになりました。特に、保健学習の事例においては、自分の意志を相手に伝えることのできるコミュニケーション能力や具体的に対処できる技能(スキル)である「生きる力を育む指導」にポイントを置き、6名の協力委員が意欲的に実践してきました。養護教諭に求められている新たな役割に対応できる資料として、大いに役立つことを願っています。

編集にあたり、事例執筆者の先生方、保健学習の協力委員の先生方、また、その協力員を支えてくださった先生方、企画の段階から御指導いただいた監修の静岡大学赤田信一先生、関係していただいた多くの先生方の御協力を賜りましたことに深く感謝し、厚くお礼申し上げます。

編集委員

大石みどり 細谷享子 堀内有美 山下美奈子 曾根優子 神谷久美子 山崎友子

監修

赤田信一(静岡大学教育学部)

制作 (株)静岡教育出版社

[BACK](#)